



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月30日

上場会社名 日新製鋼株式会社  
コード番号 5407 URL <http://www.nisshin-steel.co.jp>

上場取引所 東大名福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三喜 俊典  
問合せ先責任者 (役職名) 総務・リスクマネジメント推進部長 (氏名) 榊 信行

TEL 03-3216-5566

四半期報告書提出予定日 平成24年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	126,112	△7.9	△3,577	—	△4,706	—	△5,762	—
24年3月期第1四半期	136,973	3.1	2,953	△31.8	3,464	114.4	2,142	559.1

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △5,380百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 3,890百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△6.38	—
24年3月期第1四半期	2.37	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	621,097	185,488	29.0
24年3月期	627,428	193,485	29.8

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 180,104百万円 24年3月期 186,851百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	1.50	1.50
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

25年3月期の期末配当につきましては、現時点で未定です。

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	250,000	△10.8	△9,000	—	△7,000	—	△10,000	—	△11.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社と日本金属工業株式会社は、平成24年10月1日に共同株式移転の方法による経営統合を予定しております。このため、平成25年3月期の連結業績予想につきましては、合理的な算定が困難なため未定としております。

株式移転による共同持株会社設立後の新会社の連結業績予想につきましては、改めて発表する予定です。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は四半期決算短信(添付資料)P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は四半期決算短信(添付資料)P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	994,500,174 株	24年3月期	994,500,174 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	90,755,844 株	24年3月期	90,748,707 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	903,747,212 株	24年3月期1Q	903,773,388 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 2「1. (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料・動画等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成24年7月31日（火）・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）のわが国経済は、東日本大震災からの復興需要などにより、製造業を中心に緩やかな回復基調となりました。

鉄鋼業界におきましては、国内の建設・自動車分野における堅調な需要はあったものの、中国・韓国ミルの高水準な生産による供給過剰を背景に、国内市場も含め、アジア地域の鋼材市況が総じて軟調に推移するなど、厳しさを増す展開となりました。

このような環境のもと、当社グループは、安価原料の使用拡大や生産効率の向上、物流コストの削減など合理化・総コスト削減活動を一層強力に推進するとともに、販売面では、高耐食溶融めっき鋼板「ZAM（ザム）」や当社独自のステンレス、特殊鋼など当社の得意とする高付加価値品種を中心に拡販を進め、収益の確保に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高1,261億円（前年同期比108億円減収）、営業損失35億円（同65億円減益）、経常損失47億円（同81億円減益）、四半期純損失57億円（同79億円減益）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の増加（125億円）、受取手形及び売掛金の減少（△111億円）、有形固定資産の減少（△31億円）、投資有価証券の減少（△30億円）等があり、前連結会計年度末（平成24年3月末）より63億円減少し、6,210億円となりました。

負債は、有利子負債の増加（84億円）等により、前連結会計年度末より16億円増加し、4,356億円となりました。

純資産は、四半期純損失（△57億円）等があり、前連結会計年度末より79億円減少し、1,854億円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、電力供給不安やデフレ影響、さらには欧州債務危機の懸念から海外経済に減速感が広がるなど、景気回復への先行きが懸念される状況となっております。

鉄鋼業界におきましても、東アジアを中心に、供給過剰の問題は常態化しつつあり、急速な改善は見込めない状況となっております。また、内需においても復興需要の遅れ、エコカー補助金終了に伴う自動車分野の反動減などがあり、総じて厳しい状況が継続することが見込まれます。

このような状況のもと、当社グループは収益確保に向け、グループ一体となった合理化・総コスト削減活動を一層推進してまいります。また販売面においては、販売価格の適正化に加え、戦略商品のさらなる拡販を進めるべく、新エネルギー分野などの新たなマーケット開拓に取り組んでまいります。

現在、当社は「世界と戦える収益体質の追及」「グローバル事業体制の構築」「コア製品戦略と新商品開発」「新規事業の創出と市場展開」などを柱に、新たな中期経営計画の策定に取り組んでおります。

本年10月に予定している日本金属工業株式会社との統合によるシナジー創出最終年度である平成28年度での到達目標を明確にしたうえで、平成26年度までを企業基盤強化期間と位置づけた計画を、新会社設立後に発表する予定です。

以上のように今後の状況は厳しいことが予想されますが、現時点での経営環境や施策の取り組みを勘案し、第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）の連結業績予想を下記のとおりといたしました。

## 連結業績予想

(億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第2四半期（累計）	2,500	▲ 90	▲ 70	▲ 100

## (参考) 個別業績予想

(億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第2四半期（累計）	1,900	▲ 105	▲ 100	▲ 125

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社（一部を除く）は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ67百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,240	30,802
受取手形及び売掛金	80,323	69,188
たな卸資産	132,382	130,456
その他	18,330	16,329
貸倒引当金	△697	△743
流動資産合計	248,579	246,033
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	69,601	68,655
機械装置及び運搬具(純額)	91,571	88,039
その他(純額)	63,389	64,746
有形固定資産合計	224,562	221,441
無形固定資産	8,247	7,904
投資その他の資産		
投資有価証券	103,767	100,735
その他	42,153	44,931
貸倒引当金	△544	△544
投資その他の資産合計	145,376	145,122
固定資産合計	378,186	374,468
繰延資産	661	595
資産合計	627,428	621,097
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	80,523	79,290
短期借入金	75,863	79,446
コマーシャル・ペーパー	10,000	—
1年内償還予定の社債	10,000	20,000
引当金	628	450
その他	36,724	30,851
流動負債合計	213,740	210,038
固定負債		
社債	90,000	100,000
長期借入金	82,185	77,030
退職給付引当金	30,377	30,908
特別修繕引当金	12,701	12,836
その他の引当金	962	879
その他	3,976	3,918
固定負債合計	220,203	225,571
負債合計	433,943	435,609

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	79,913	79,913
資本剰余金	49,893	49,893
利益剰余金	88,577	81,481
自己株式	△26,444	△26,445
株主資本合計	191,939	184,842
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,718	3,432
繰延ヘッジ損益	319	△483
土地再評価差額金	360	360
為替換算調整勘定	△12,485	△8,047
その他の包括利益累計額合計	△5,087	△4,737
少数株主持分	6,633	5,383
純資産合計	193,485	185,488
負債純資産合計	627,428	621,097

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	136,973	126,112
売上原価	122,944	118,452
売上総利益	14,028	7,659
販売費及び一般管理費	11,075	11,236
営業利益又は営業損失(△)	2,953	△3,577
営業外収益		
受取利息	59	48
受取配当金	1,111	565
持分法による投資利益	2,338	1,339
その他	122	159
営業外収益合計	3,631	2,112
営業外費用		
支払利息	1,303	1,371
為替差損	282	533
出向者労務費差額負担	477	434
その他	1,057	901
営業外費用合計	3,120	3,241
経常利益又は経常損失(△)	3,464	△4,706
特別利益		
固定資産売却益	—	11
負ののれん発生益	—	1,148
特別利益合計	—	1,159
特別損失		
固定資産除売却損	62	6
投資有価証券評価損	—	1,890
その他の投資評価損	—	17
災害による損失	581	—
特別損失合計	644	1,914
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,820	△5,460
法人税等	613	253
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	2,206	△5,714
少数株主利益	63	47
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,142	△5,762



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	2,206	△5,714
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△355	△3,249
繰延ヘッジ損益	△402	△742
為替換算調整勘定	191	509
持分法適用会社に対する持分相当額	2,249	3,815
その他の包括利益合計	1,683	333
四半期包括利益	3,890	△5,380
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,832	△5,412
少数株主に係る四半期包括利益	57	32

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## I. 平成24年度第1四半期連結決算

## 1. 損益状況等

(億円)

	H24年度 4-6月実績 (a)	H23年度 4-6月実績 (b)	差異 (a)-(b)	H23年度 1-3月実績 (c)	差異 (a)-(c)
売上高	1,261	1,369	▲108	1,363	▲102
営業利益	▲35	29	▲64	▲28	▲7
経常利益	▲47	34	▲81	▲44	▲3
四半期純利益	▲57	21	▲78	▲70	13
1株当たり四半期純利益(円)	▲6.38	2.37	▲8.75	▲7.92	1.54

(ステンレス業績&lt;単独&gt;・上記の内数)

売上高	300	370	▲70	330	▲30
経常利益	▲15	20	▲35	▲35	20

## 2. 諸元(単独)

	H24年度 4-6月実績 (a)	H23年度 4-6月実績 (b)	差異 (a)-(b)	H23年度 1-3月実績 (c)	差異 (a)-(c)
粗鋼生産量(万トン)	95	91	4	92	3
うちステンレス	15	14	1	12	3
販売数量(万トン)	85	85	0	93	▲8
うちステンレス	12	12	0	13	▲1
鋼材平均単価(千円/トン)	115	129	▲14	120	▲5
輸出比率(金額ベース, %)	17	16	1	15	2
輸出為替レート(円/ドル)	80	82	▲2	80	0

## 3. 経常利益差異内訳

## ① H23年度4-6月実績 対 H24年度4-6月実績

(億円)

(内ステンレス単独)

H23年度4-6月(実績)		34	変動要因		20
変動要因	販売関連	▲95	価格差▲95(内ステンレス 価格差▲50)		▲50
	購買関連	60	鉄鉱石 20、石炭 10、ニッケル原料 25、クロム 5		30
	コスト改善等	19	合理化・為替等		0
	子会社等	▲10	持分▲10		-
	在庫評価	▲55	30→▲25(内ステンレス 10→▲5)		▲15
	計	▲81			▲35
H24年度4-6月(実績)		▲47			▲15

## ② H23年度1-3月実績 対 H24年度4-6月実績

(億円)

(内ステンレス単独)

H23年度1-3月(実績)		▲44	変動要因		▲35
変動要因	販売関連	▲40	価格差▲35、数量構成差▲5(内ステンレス 価格差▲10、数量構成差 5)		▲5
	購買関連	35	鉄鉱石 25、石炭 5、ニッケル原料 5		5
	コスト改善等	▲3	合理化・為替等		5
	子会社等	5	持分 5		-
	在庫評価	0	▲25→▲25(内ステンレス▲20→▲5)		15
	計	▲3			20
H24年度4-6月(実績)		▲47			▲15

4. 連結貸借対照表 (H24年6月末)

(2 / 3)

(億円)

(借方)	連結		(貸方)	連結	
		対24/3末			対24/3末
現預金	308	▲ 125	有利子負債	2,764	▲ 84
売上債権	691	▲ 111	繰延税金負債	9	0
たな卸資産	1,304	▲ 19	その他の負債	1,581	▲ 67
その他流動資産	132	▲ 25	負債合計	4,356	▲ 16
有形・無形固定資産	2,293	▲ 34	資本金・資本剰余金	1,298	—
繰延税金資産	113	▲ 26	利益剰余金	814	▲ 70
投資等	1,366	▲ 24	自己株式	▲ 264	▲ 0
			その他の	▲ 47	▲ 3
			包括利益累計額		
			少数株主持分	53	▲ 12
資産合計	6,210	▲ 63	純資産合計	1,854	▲ 79
			負債・純資産合計	6,210	▲ 63

II. 平成24年度第2四半期連結業績予想

1. 損益状況等

(億円)

	H24年度4-9月			H23年度 10-3月 実績(d)	差異 (c)-(d)
	4-6月 実績(a)	7-9月 予想(b)	(c)=(a)+(b)		
連結	売上高	1,261	1,239	2,500	▲ 275
	営業利益	▲ 35	▲ 55	▲ 90	▲ 87
	経常利益	▲ 47	▲ 23	▲ 70	▲ 48
	四半期純利益	▲ 57	▲ 43	▲ 100	▲ 13
	1株当たり四半期純利益(円)	▲ 6.38	▲ 4.69	▲ 11.07	▲ 1.34
単独	売上高	—	—	1,900	▲ 330
	営業利益	—	—	▲ 105	▲ 74
	経常利益	—	—	▲ 100	▲ 44
	四半期純利益	—	—	▲ 125	▲ 13

(ステンレス業績<単独>・上記の内数)

売上高	300	270	570	640	▲ 70
経常利益	▲ 15	25	10	▲ 50	60

2. 諸元(単独)

	H24年度4-9月			H23年度 10-3月 実績(d)	差異 (c)-(d)
	4-6月 実績(a)	7-9月 予想(b)	(c)=(a)+(b)		
粗鋼生産量(万トン)	95	102	197	183	14
うちステンレス	15	16	31	24	7
販売数量(万トン)	85	88	173	182	▲ 9
うちステンレス	12	11	23	24	▲ 1
鋼材平均単価(千円/トン)	115	105	110	123	▲ 13
輸出比率(金額ベース, %)	17	15	16	13	3
輸出為替レート(円/ドル)	80	80	80	79	1

3. 経常利益差異内訳

① H24年度4-6月実績 対 H24年度7-9月予想

(億円)

(内ステンレス単独)

H24年度4-6月(実績)		▲ 47	変動要因	▲ 15
変動要因	販売関連	▲ 55	価格差▲75、数量構成差 20 (内ステンレス 価格差▲10、数量構成差 10)	0
	購買関連	25	鉄鉱石 5、石灰 15、油類 5	0
	コスト改善等	19	合理化・為替等	45
	子会社等	40	持分 40	—
	在庫評価	▲ 5	▲25→▲30 (内ステンレス▲5→▲10)	▲ 5
	計	24		40
H24年度7-9月(予想)		▲ 23		25

## ② H23年度10-3月実績 対 H24年度4-9月予想

(億円)

(内ステンレス単独)

H23年度10-3月(実績)		▲ 22	変動要因	▲ 50
変 動 要 因	販売関連	▲ 210	価格差▲220、数量構成差 10 (内ステンレス 価格差▲45、数量構成差 10)	▲ 35
	購買関連	130	鉄鉱石 65、石炭 45、ニッケル原料 20	20
	コスト改善等	▲ 3	合理化・為替等	50
	子会社等	50	持分 50	-
	在庫評価	▲ 15	▲40→▲55 (内ステンレス▲40→▲15)	25
計		▲ 48		60
H24年度4-9月(予想)		▲ 70		10

## 4. 株主還元

第2四半期末配当については、現下の収益状況及び今後の業績動向を踏まえて見送り。通期末の配当については未定。

## 〔参考〕有利子負債額・D/Eレシオ推移

	H24年 3月末実績	H24年 6月末実績	H24年 9月末予想
手許預金	182	308	300
有利子負債(億円)	2,680	2,764	2,780
ネットD/Eレシオ	1.34	1.36	1.41
〃 (格付A <sup>+</sup> -ス) ※	1.06	1.08	1.11

※ 日本格付研究所の格付評価上、資本性が認められるハイブリッド証券  
(利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債<劣後特約付・適格機関投資家限定>)  
500億円について、その50%を資本とみなした場合のネットD/Eレシオ